

埼玉県庁での防犯相談会出展報告



安全・安心ショップ グッドセーフティ 代表 高橋 大作

弊社は埼玉県内を中心に「防犯設備から防犯の意識を変える」をモットーに防犯カメラの販売・施工とインターネットを使った災害備蓄品の販売を2020年より行っています。一般社団法人埼玉県防犯設備協会会員として地域のイベントで「防犯相談会」を行っており、昨年11月14日の埼玉県民の日に埼玉県庁で行われた県庁オープンデーに一般社団法人埼玉県防犯設備協会として参加した様子を報告します。

当日はすっきりとした秋晴れに恵まれ、普段見ることのできない庁舎内が開放されることもあり開場の9時からたくさんの来場者で賑わいました。埼玉県民の日で祝日ということや浦和という場所柄もあり県内外から多数の来場者があり、一般社団法人埼玉県防犯設備協会の出展した「防犯相談会」にも300組以上の家族連れに来場していただき、配布用に準備した400部の資料はイベント終了前にすべて配布が終わり来場者の防犯への関心の高まりを感じました。

出展内容としては埼玉県都市整備部住宅課協力のもと防犯に対する「防犯クイズ」をおこない家族で参加できるような内容にしました。参加者には小物商品を参加賞としてもれなくプレゼント、その後防犯の展示物の説明をおこない最後に用意した資料を配布するという流れを作りブース展開をしました。防犯クイズは子供も参加できる程度の問題を家族で答えていただき、防犯に対する気づきが出来るようになっています。



展示物はCPマークの付いた2重ガラスサッシ、防犯フィルムや防犯カメラの実際の映像を確認いただけるよう実機の展示とビデオ映像による防犯フィルムの打撃試験の様子などを流しました。サッシを使った2重ロックの説明などは実際に展示物に触って使うことで改めて防犯対策に気づいていただけるようにしました。

来場者と話をする中で、空き巣被害の経験があるお宅が意外に多かったことと、繰り返し2度、3度と空き巣の被害を受けた方が複数いたことに驚きました。

空き巣被害を受けたお宅は繰り返し被害に遭うと聞いたことがあります、実際に被害に遭われた方の話を聞くと被害に遭われた後も特に対策を講じずに繰り返し被害に遭われており防犯設備士として何か提案できることはないか考えさせられました。また、埼玉県内は自動車に絡む犯罪が多く車上荒らしや盗難などの対策を来場者から質問を受けました。普段聞くことのできない被害者の話なども聞くことができ、実りのある防犯相談会になりました。今後も近隣の市役所や商工会議所に声掛けをしてイベントへの出展を検討しています。

最後になりますが、令和5年の展望としてはコロナの影響で期せずして顔認証技術を使ったカメラが社会に普及したためAIを使った顔認証カメラの活躍の土壤が出来たと思っており、さらなる顔認証カメラの普及が進むと考えています。弊社としても企業への提案など積極的に取込みたいと考えています。また、新たな話題としてドローン国家資格免許制度が昨年より始まっており、今後様々な分野で普及が見込まれています。実際に建設・運輸・農業分野ではすでに実用化されている事例も多々ありますし、災害への運用も進んでいて自宅近隣のドローン練習場では地域の消防隊員がドローンの練習をしている光景を目にしています。一方で防犯分野でのドローン活用はまだまだ現実的な話題があがらないのが現状ですが、今後、防犯の側面からドローンの可能性の研究に期待したいと思っています。

公益社団法人日本防犯設備協会におかれましては、今後ますますの発展を期待するとともに、防犯設備士が輝ける環境をぜひ協会主導で作っていただけることを心より願っています。

